

新琴似屯田兵中隊本部保存会

自分たちのまちは自分たちで守る。

先人への感謝とともに

受け継いだ遺産を後世に残したい。



私が思う、 北区の魅力・好きな場所

新琴似で好きな場所は、「安春川」です。その歴史は、屯田兵の入植時代にまでさかのぼります。農村地帯の頃は排水溝でしたが、時代の流れとともにその役目も変わりました。今では遊歩道が整備された公園として生まれ変わり、マガモたちも飛来する憩いの場になりました。

新琴似屯田兵中隊本部保存会 副会長
新琴似神社 責任役員 敬神講講長など 平井 勇光さん

1945年、北区新琴似生まれ。66年に札幌市琴似町消防団に入団し、これまでに北海道消防協会会长、札幌市北消防団団長などを歴任。



新琴似神社の境内にある新琴似屯田兵中隊本部。文化財の保存や活用を保存会が担っています

新琴似の歴史を語る上で、欠かせないスポットといえるのが「新琴似屯田兵中隊本部」と「新琴似神社」です。新琴似屯田兵中隊本部は、1886(明治19)年に、新琴似開拓の拠点として建てられました。その翌年に、天照皇大御柱の神を奉斎する神祠を建た。豊受大神、神武天皇の三柱の神を奉斎する神祠を建て、入植者の心のよりどころとしたのが新琴似神社です。

「新琴似屯田兵中隊本部と新琴似神社は、切っても切れないとして、同地区で生まれ育ちました。戦後、中隊本部は新琴似として、同地区で生まれ育ちました。

新琴似屯田兵中隊本部保存会に入植した屯田兵の四代目として、同地区で生まれ育ちました。現在は町内会や札幌市の新琴似区の町内会や札幌市の新琴似出張所などに活用された後、1974年に、札幌市の有形文化財に指定されました。現在は、開拓の歴史を展示する資料館として一般公開し、新琴似屯田兵中隊本部保存会が、施設の運営や屯田兵につわる資料の管理を行っています。

保存会の発足当初は、屯田兵の資料の収集に取り組みました。当時の写真や生活道具などをご家庭から集めることで、想像以上に骨が折れました。

新琴似屯田兵中隊本部保存会
北区新琴似8条3丁目1-8
TEL.011-761-4205
(新琴似まちづくりセンター)

一方で、平井さんは21歳から33年間にわたり、新琴似神社の「伶人」と呼ばれる雅楽隊の一員も務めてきました。同じ頃に、地域の消防団にも入団し、2019年に退任するまで52年間勤続しました。災害時に行政頼みでは、生활の復旧に時間がかかります。自分たちのまちは自分たちで守るという意識が大切で、消防団で培った知識を元しています。これまで多くの地域活動に携わっているのは、「屯田兵のゆかりの者として、地域に恩返しをしたいという思いからです」と平井さん。「先人が残したものを受け、次世代に引き継ぐのが私たちの役目です」。

とは、想像以上に骨が折れました。

一方で、平井さんは21歳から33年間にわたり、新琴似神社の「伶人」と呼ばれる雅楽